

第3学年1組 国語科指導案

指導者 川上 健治

1. 日時・場所 令和5年12月6日(水) 5校時 3年1組教室

2. 単元名 人物図鑑を作ろう

3. 単元の目標

児童の協同性を高める民主的指導法を用いることを通して、選択した物語の中心人物の変容に気が付き、中心人物の人物像について多面的に批評・評価することができる。

4. 本時の学習(11時間中9時間目)

(1) 目標 最後の部分は「豆太が変わっていない後話」か「豆太が変わった後話」かのどちらがよいかを選択することを通して、斎藤隆介さんの意図に自分なりに気が付き、語り手が語る「豆太像」ではなく、自分なりの「豆太像」を創り上げることができる。

(2) よりよい学級(学習)集団づくりの手立て

・本時の課題解決に向けて、ロイロノートの共有ノートを使用し、意見を可視化しながら相互作用する場面を設定する。また、発表時は、友だちの「良いな」と思った意見を伝えることも認めるようにする。

(3) 展開

学習活動	○主な発問・予想される児童の反応	指導上の留意点(◎視点Iの手立て)
1. 前時の振り返りをする。	○前の時間の振り返りをしましょう。 ・テーマは「弱虫でもいざとなれば勇気をもつことが大事」だと思います。	・既習事項を振り返る際は、 ペア→全体 で確認する。
作者の最後の語りの意図は？		
2. 課題に取り組む。 ①一人学び ②グループトーク ③全体交流	○自分ならAIさんと斎藤さんとどっちの書き方をえらぶ？ 斎藤さん(そのままの豆太の後話) ・このほうが豆太らしくていいから ・いざというときに勇気が出たらよくて普通の豆太はこれでいいから AIさん(変わった豆太の後話) ・強くなった豆太でいてほしいから ・こっちのほうがすっきりするから ○斎藤隆介さんがAIさんを説得するとしたらどう言うかな？	◎グループトークの際は、班のキャプテンが中心となって、班のみんなが理解できるように意識する声掛けを行い、課題解決に向かってみんなで取り組む意識を醸成する。 ◎発表時は、自分の意見だけでなく、友だちの意見の良さを伝えることもみとめるようにする。
3. 本時のまとめをする。	○齋藤さんの意図を自分の言葉でまとめましょう。 ・確かに、豆太が強くなるほうが話はすっきりする。でも、ふだんは臆病でも、いざというときに勇気を出せることを伝えたかったんだ。	・「書く」ことに困難さがある児童もいる為、まずは音声言語で、思考を整理する。 ◎ロイロノートの提出箱を活用することで、リアルタイムで友だちの意見を参考にできる環境を作る。 ・前活動での友だちの意見を参考に、文字言語で思考を整理する。 ・豆太の人物図鑑に加筆修正させる。

指導計画（全11時間）

	学習の流れ	指導上の留意点
第一次 2h	<p>1) 学習の見通しをもつ。 ・本文を読み、初発の感想を書く。</p> <p>2) 初発の感想を交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感想は「おもしろい・ふしぎ・おどろき」の3つの観点で書かせる。書いた感想は写真におさめ、ロイロノートの提出箱に提出させておくことで次時の活動に繋げやすくする。 ・ロイロノートの提出箱を使用することで、感想を一覧に資、誰の感想が気になるかを中心に交流していく。また、長い感想に思考が思い浮かばない児童もいる為、感想を視覚化することで、他者の感想と自分の考えとを比較しやすくする。
第二次 7h	<p>3) 本文の構成を「導入—展開—山場—終結」の4つに分ける。</p> <p>4) クライマックスの検討を行う。</p> <p>5) 「導入部」から作品の設定（語りが語る豆太の性格）を読みとる。</p> <p>6) 「導入部」から豆太の「臆病」を変えたかったのは誰かを比較検討する。</p> <p>7) 「展開部」からじさまの腹痛は仮病だったかを検討する。</p> <p>8) 「山場」から「勇気」について検討しテーマに迫る。</p> <p>9) 結末の豆太の描き方についての賛否を検討する。(本時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の文章構成の分け方（時・場・人物）を想起させた上で、根拠となる言葉や文を確認しながら読み取らせる。 ・児童がクライマックスと考えると予想する2つのセンテンスカードを用いながら考える範囲を焦点化することで考えやすくする。 ・豆太は、「臆病」なのか「臆病でない」のかの二項対立にすることで意見をもちやすくする。 ・豆太とじさまに「変えたいレベル」をつけることで、差異を際立たせ、細かい部分の読みとりまで行うようにする。 ・前時の繋がりに焦点を当て「仮病」か「仮病でない」かの二択で判断をさせることで、「もし仮病だったら」と想像しやすくする。 ・「豆太が見たかったモチモチの木の花」と「今晚見たモチモチの木の花」は同じ勇気だったかの二項対立での検討を促し、じさまの言う勇気について思いを巡らせやすくする。 ・AIさんの考える「結末」と斎藤隆介さんの考える「結末」を比較検討することを通して、斎藤隆介さんの結末に込めた想いに想像を巡らせる。
第三次 2h	<p>10) お気に入りの作品から一冊を選択し、中心人物の性格を読みとる。</p> <p>11) 読んだ本の中心人物の人物図鑑を作成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童同士で交流する場を設定することで、一人では考えることに困難をもつ児童にも考えやすくする。 ・親しみのある「ポケモン図鑑」を参考に作成するように促す。また、ロイロノートで作成することで、加筆修正をしやすくする。